

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和3年1月7日(2021.1.7)

【公開番号】特開2019-107210(P2019-107210A)
 【公開日】令和1年7月4日(2019.7.4)
 【年通号数】公開・登録公報2019-026
 【出願番号】特願2017-241681(P2017-241681)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 G

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月17日(2020.11.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、所定条件の成立に基づきゲームを実行可能な遊技機に関する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

所定条件の成立に基づきゲームを実行し、当該ゲームの結果が特別結果となった場合に、遊技者に遊技価値を付与可能な遊技機が知られている。このような遊技機において、特別結果となる確率設定値を選択する機能を備えた遊技機が知られている。この遊技機では、確率設定値の選択を行うことによりRAMの情報が初期化されるようになっている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2013-42871号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、RAMの情報が初期化されることによりそれまでの遊技に関する情報がすべて失われてしまうため、確率設定値の設定の前後で情報の継続した使用ができないという不都合があった。本発明の目的は、確率設定値の設定に伴う不都合を防止することである。

【手続補正 5】【補正対象書類名】明細書【補正対象項目名】0005【補正方法】変更【補正の内容】

【0005】

以上の課題を解決するため、請求項 1 に記載の発明は、
所定条件の成立に基づきゲームを実行可能な遊技機において、
遊技の制御を行う制御手段と、
前記ゲームの抽選に用いる確率値が割り当てられた確率設定値を設定可能とする設定手段と、を備え、
前記制御手段は、
電源遮断状態でも記憶された情報を保持可能な記憶手段と、
電源の投入時に前記記憶手段に記憶されている情報が正当なものであるかを判定する正当性判定手段と、を備え、
前記設定手段により前記確率設定値の設定が行われることに対応して、前記記憶手段に記憶された情報を初期化し、
前記初期化では、前記正当性判定手段による判定の結果が正当か否かによって、前記記憶手段の初期化する領域を異ならせるようにし、
前記確率設定値を設定可能な期間において、前記ゲームの抽選に用いる乱数を更新可能とすることを特徴とする。

【手続補正 6】【補正対象書類名】明細書【補正対象項目名】0006【補正方法】変更【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、確率設定値の設定に伴う不都合を防止することができる。

【手続補正 7】【補正対象書類名】特許請求の範囲【補正対象項目名】全文【補正方法】変更【補正の内容】【特許請求の範囲】【請求項 1】

所定条件の成立に基づきゲームを実行可能な遊技機において、
遊技の制御を行う制御手段と、
前記ゲームの抽選に用いる確率値が割り当てられた確率設定値を設定可能とする設定手段と、を備え、
前記制御手段は、
電源遮断状態でも記憶された情報を保持可能な記憶手段と、
電源の投入時に前記記憶手段に記憶されている情報が正当なものであるかを判定する正当性判定手段と、を備え、
前記設定手段により前記確率設定値の設定が行われることに対応して、前記記憶手段に記憶された情報を初期化し、
前記初期化では、前記正当性判定手段による判定の結果が正当か否かによって、前記記憶手段の初期化する領域を異ならせるようにし、
前記確率設定値を設定可能な期間において、前記ゲームの抽選に用いる乱数を更新可能とすることを特徴とする遊技機。